

金子商事株式会社

地域清掃活動レポート



私たちは、毎月一回、地域の清掃活動を行っております。

○目的

- ・地球環境改善への貢献
- ・地域社会への貢献
- ・近隣友好、地域住民とのコミュニケーション



○活動内容

- ・近隣のゴミ拾い
- ・近隣の草刈り
- ・側溝の清掃
- ・ゴミ集積所の清掃



○地域の声

- ・道端のゴミや雑草って、気にはなるけど
 ついつい見過ごしてしまうもの。
 誰かが片付けないと、ずっと無くならないんですよね。本当に有難いです。
 地域がきれいになると、気持ちがいいです。
 「私も何かしなくっちゃ」という気になります。

環境活動レポート

-平成 23 年度(H23.8～H24.7)版-

平成 24 年 8 月 21 日

金子商事株式会社

《環境方針》

私たちは、地球温暖化をもうこれ以上放ってはおけないという気持ち、何かをしなければならないという気持ちから、エコアクション 21 を始めました。また、当社の本業である廃棄物等の収集運搬では、「お客様第一たれ」をモットーに業務を遂行していきます。さらに、当社の関係する環境関連の法律、規制、条例等の遵守はもとより、以下の環境目標に取組み、継続的改善に努めていきます。

- (1) 排出事業者とのコミュニケーションを密にし、分別の提案によりリサイクル量の拡大を図ります。
- (2) アイドリングストップ、エコドライブにより収集運搬車両の燃費向上を図ります。
- (3) 省エネ、グリーン購入、カーボンオフセット等により、二酸化炭素排出量を削減します。
- (4) 節水により、上水使用量を削減します。
- (5) K Y T、ヒヤリ・ハット報告により、緊急事態の予防を図ります。

当社の環境活動内容を環境活動レポートで公開します。
また、当社の環境方針は社内に掲示し全ての従業員に周知します。

H19 年 4 月 1 日制定
H24 年 8 月 21 日改訂

金子商事株式会社
代表取締役



2. 組織の概要

(1)法人設立年月日 平成 11 年 8 月 5 日

(2)資本金 1000 万円

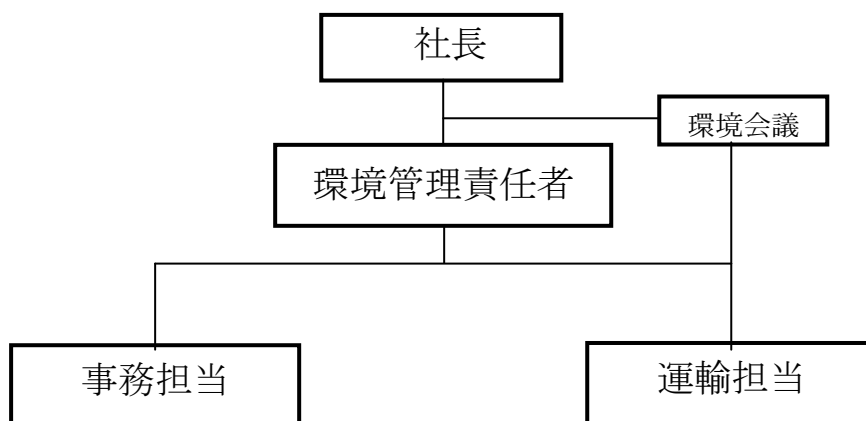
(3)売上高

平成 21 年度：83 百万円

平成 22 年度：91 百万円

平成 23 年度：82 百万円

(4)組織図



(5)事業所名及び代表者名

事業所名：金子商事株式会社

代表者名：金子房雄

(6)所在地

埼玉県久喜市菖蒲町上大崎 424-1

(7)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名：金子昭雄

担当者連絡先：埼玉県久喜市菖蒲町上大崎 424-1

(電話)0480-87-1107

(FAX)0480-87-1108

(8)事業活動の内容

(a)一般廃棄物の収集運搬

①久喜宮代衛生組合 管理者職務代理者 副管理者許可 久宮衛指令収 第 4 5 号

②上尾市長許可 上西環許可 第 18-ご 14 号

(b)産業廃棄物の収集運搬の許可の内容

廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類 (注1)	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず (注2)	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず (注3)	鉱さい	がれき類	ばいじん	許可番号 許可年月日 許可の有効年月
埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1101066282
																	H17.1.13
																	H27.1.12
(特管) 埼玉県			○ 注4														1151066282
																	H18.7.27
																	H28.7.26
東京都			○ 注5	○ 注6	○	○	○	○	○			○	○		○		第 13-00-066282
																	H17.11.10
																	H27.11.9
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		1200066282
																	H15.6.25
																	H25.6.24
栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		0900066282
																	H14.7.8
																	H29.7.7
群馬県		○	○	○	○	○	○	○		○		○	○		○		1000066282
																	H18.1.19
																	H28.1.18
茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 注7	○	○	○	○	○	○	0801066282
																	H17.8.31
																	H27.8.30
神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		01402066282
																	H23.1.21
																	H28.1.20

(注 1) 自動車等破砕物を除く(但し、栃木県を除く)

(注 2) 自動車等廃棄物を除く(但し、栃木県は除く)

(注 3) がれき類及び自動車等破砕物を除く(但し、栃木県は除く)

(注 4) 揮発油類、灯油類及び軽油類に限る

(注 5) 滴下焼却できるものに限る

(注 6) 塩化第二鉄を除く

(注 7) 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く

(c) 施設等の状況

① 運搬車両

- ・ 4 トンアームロール車 3 台
- ・ 4 トン平ボディ 1 台
- ・ 1.5 トン平ボディ 1 台

(d) 処理実績

収集運搬量

単位 トン

収集運搬量	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
一般廃棄物	108	121	109
産業廃棄物	2,372	2782	2429
廃プラ	648	761	662
金属	548	785	618
木くず	508	471	454
がれき	25	33	40
汚泥	543	624	565
もえがら	22	22	18
廃油	68	74	63
紙くず	10	12	9
リサイクル品(合計)	1579	2127	1645
* 最終処分(合計)	793	655	784

* 廃プラと汚泥の一部を処分

(e) 廃棄物処理料金

個別見積による(見積料は無料)。

(f) 事業の規模

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
従業員(人)	7	7	7
敷地面積(m ²)	843	843	843

4. 環境への負荷の状況

		単位	H21 年度	H22 年度	H23 年度
総エネルギー 投入量	購入電力	MJ	53,456	60,336	70,933
	軽油	MJ	503,170	608,669	574,047
	ガソリン	MJ	199,331	178,203	160,845
	灯油	MJ	13,799	15,964	21,139
水資源投入量	上水	m ³	113	125	161
二酸化炭素排出量	二酸化炭素	Kg-CO ₂	50,935	57,513	55,054
産業廃棄物排出量	廃油(再生)	t	0.15	0.15	0.15

5. 環境目標とその実績

環境目標 3 年計画	H23 年度計画	H23 年度結果	評価
収集運搬のリサイクル量を H20 年度実績(1,331 トン)に対し、H23 年度までに 6%拡大(1,411 トン)する。	収集運搬のリサイクル量を H20 年度実績(1,331 トン)に対し、6%拡大(1,411 トン)する。	目標値 1,411 トンに対し 1,645 トンのリサイクル量となり、目標達成。	○
収集運搬車の燃費を H20 年度実績(5.694km/ℓ)に対し、H23 年度までに 3%向上(5.865km/ℓ)させる。4 トン車 3 台	収集運搬車の燃費を H20 年度実績(5.694km/ℓ)に対し、H23 年度までに 3%向上(5.865km/ℓ)させる。4 トン車 3 台	目標値 5.865km/ℓに対し 5.867km/ℓで、おしくも未達成。	×
二酸化炭素排出量を H20 年度実績(53,693kg-CO ₂)に対し、H23 年度までに 6%削減(49,462kg-CO ₂)させる。	二酸化炭素排出量を H20 年度実績(53,693kg-CO ₂)に対し、H23 年度までに 6%削減(49,462kg-CO ₂)させる。	目標値 49,462kg-CO ₂ に対し 55,054kg-CO ₂ で、目標未達成。	×
上水の使用量を H22 年度(8 月～10 月)実績(32.5 m ³ /3 ヶ月)に対し、H23 年度までに 2%削減(127.4 m ³)させる。	上水の使用量を H22 年度(8 月～10 月)実績(32.5 m ³ /3 ヶ月)に対し、H23 年度までに 2%削減(127.4 m ³)させる。	目標値 127.4 m ³ に対し 161 m ³ で目標未達成。	×
KYT、ヒヤリ・ハット報告により緊急事態の予防を図る。	KYT 年 12 回、ヒヤリ・ハット報告月 1 回、実施により緊急事態の予防を図る。	良く出来た。	○

【社長の評価】

- (1)リサイクル量の拡大は、全体の物量が減少したが、目標は達成できた。更なる顧客への分別の提案をしていきたい。新規開拓に力をいれ、リサイクル量の拡大を目指したい。
- (2)収集運搬車両の燃費向上については、おしくも目標未達成であった、個々の意識のレベルで、更なる努力をしていきたい。

- (3)二酸化炭素排出量削減は、節電や、燃費向上が浸透してはいるものの、目標未達である。目標の限界がきていると思われる。グリーン購入や、カーボンオフセットに取り組んでいこう。
- (4)上水使用量削減は、未達成である。全社員の作業服を会社で、洗濯するようにしたため、使用量が増えた。各家庭での、使用量は削減されていると思われる。また使い捨ての作業手袋も、洗濯して長く使うようにしたことも、使用量増加の原因である。洗濯以外に水の使用はしておらず、これ以上の削減は難しい。
- (5)緊急事態の予防については、意識改革が進んだように思われる。客先別の作業マニュアルも整備された。更なる徹底で、事故0を目指したい。

6. 環境活動計画の内容と取組結果の評価

環境活動計画	取組結果	評価
コピー用紙、印刷物、パンフレット、トイレットペーパー、名刺、その他用紙の再生紙への転換	コピー用紙、封筒、トイレットペーパーで再生紙を使用中	5
空調の適温化	冷房 28 度、暖房 20 度で実施中	5
空調の保守点検	フィルター掃除を実施した。	5
照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理	徹底されている。	5
裏紙使用、両面コピーの徹底	両面コピー機の導入。	5
詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用推進	トナー、洗剤で使用中	4
紙、金属缶、ガラス瓶、プラスチック等の分別回収ボックスの適正配置による分別の徹底	徹底されている。	5
作業時間、待機時間、走行距離の短縮	待機時間が発生しない引き取り時間の設定を徹底している。走行距離は最短距離で運行ルートを設定しており、走行距離の最短化を実現している。	5
収集・運搬取扱量の平準化	受注の平準化を実施している。	5
アイドリングストップやエコドライブの実施	燃費向上の効果は出てきている。	4
排気ガス、騒音・振動等を抑えるための適正な車両整備	日常点検、グリースアップ、を実施。	5
洗濯水の節水	雨水利用。	3
リサイクル量拡大の為の、取引先に対する提案等	徹底されている。新規開拓もできている。	5

(評価点) 5点：90%以上 4点：70%以上 3点：50%以上 2点：30%以上 1点：30%未満

(スケジュールに対する進捗度等の対計画比で評価する)

【社長の評価】

全体的によい。今後は、優良産廃処理業者認定制度を取得したい。

7. 代表者による見直し

8 月 21 日に、社長により全体の評価と見直しを行い、下記の事項が指示された。三年計画も終わったので、次のステップに向かう目標を設定したい。

- (1)リサイクル量拡大は、H20 年度実績を基準として、8%拡大とする。(3 年計画は 12%拡大とする。)
- (2)燃費向上は、H20 年度実績を基準として、3.5%向上とする。(3 年計画は 4.5%向上とする。)
- (3)二酸化炭素排出量削減は、目標の限界と判断し、今後は、監視項目として把握する。新たに、カーボンオフセット、グリーン購入に取り組むこととする。グリーン購入は、H23 年度現状を 0 品目として、プラス 1 品目の購入とする。(3 年計画はプラス 3 品目とする。)
- (4)上水使用量削減は、全社員の作業服を会社で、洗濯するようにしたため、H23 年度実績を新たな基準として、1%削減とする。(3 年計画は 3%削減とする。)
- (5)年 12 回の KYT、毎月 1 件以上のヒヤリ・ハット報告による緊急事態の予防を図る。

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

平成 23 年 8 月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、環境関係法令等への違反はない。
なお、過去 3 年間関係当局からの違反等の指摘はなく、また訴訟等もない。